



1月の園だより



令和6年1月4日
目黒区立祐天寺保育園園長

あけましておめでとうございます。

ご家庭で穏やかなお正月を過ごされましたでしょうか？ 本年も子どもたちの笑顔があふれる1年となりますよう職員一同取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、12月のある日、園庭では1歳児クラスの子どもたちが平たく並べたタイヤの上で遊んでいました。保育士がタイヤの隙間ごとにバスマットを建て、ワンルームのような空間を作ると、それぞれに確保して満足そうな様子です。プブーと運転のしぐさをしては、周囲に「バッバーイ」と手を振る子や、「…ませ！」とお店屋さん気分の子、自分の部屋のようにまったりと落ち着いている子もいます。そこに保育士が「お届けです」と砂のごちそうを配達すると、あちこちの部屋から手が伸びて嬉しそうに受け取り、パクパクと食べマネです。何度も繰り返し手が伸び、「はいどうぞ」と大忙しの配達になっていました。

翌日は、タイヤの上が2歳児クラスの子どもたちのお家になっていました。そこに1歳児が砂の入った器を運んでいくと、気づいた2歳児がそっと受け取ってくれていました。昨日のお届けが楽しかったのか、器をとっては保育士に砂を乗せてもらい、とことこと何度も何度も無言の配達が続き、その度になっり受け取る2歳児との無言のやり取りが生まれていました。

子どもの中で楽しかった遊びが繰り返され、誰かとつながってまた楽しくなると、ほんわか温かい輪ができていくようでした。

今年度も残り3カ月となりました。子どもたちの輪を大切に育んでいきたいと思ひます。

【1月の行事予定】

3歳児クラス懇談会

お店屋さんごっこ

4歳児クラス懇談会

中旬 避難訓練・身体計測

【懇談会の予定】

2月に0、1、2歳児クラスの懇談会を行います。いずれも16時30分より保育園ホールで行います。ご都合をつけてご参加ください。詳細は別途お知らせいたします。

子どもたちのかわいいエピソード

腹ばいで遊んでいたちゅうりっぷ組(0歳)の子が泣くと、隣で座って遊んでいた友達が床に顔をつけるようにして顔をのぞき込み“どうしたの？”という表情をしたり、保育士が「お庭に行こうね」と言うと、友達のほうを向いて“おいで、おいで”をします。相手の友達にも思いが通じて一緒に行こうとするなど、思いを通わせている子どもたちです。



たんぽぽ組(1歳)やひまわり組(2歳)の子どもたち、お話が上手になり「クリスマスパーピーしたよ」「サンタはん来たんだよ」など保育士や子ども同士での会話が聞かれます

おままごとでは、かまぼこ板にフェルトを貼った玩具を携帯電話に見立てて「ピピッ」と言ってお買い物をしたり、「ビールと辛みチキンくださ〜い」とお店屋さんごっこをするなど身近なことを真似して楽しんでいます。

幼児クラスの子どもと保育士の会話

東京に雹が降った日の翌日のこと。
(保育士はその事を知りませんでした。)

子：先生、この間すごかったね

保：何がすごかったの？

子：ほら、あの、こわいやつ…

ババババ〜って…

保：雷？

子：違う、ほら、…トラ!

保：…?! あ、ひょう？

子：そう！ひょう！



3・4・5歳児クラス室内遊びの様子です

りす組 (3歳児)「ハンバーガー屋さん」

円形状の玩具をパン、チーズ、お肉に見立てて何枚も重ねてハンバーガーを作り、看板を窓に貼って「ハンバーガー屋」を始めた子がいました。何日かその遊びが続いていたので、ある日保育士が「ポテトも作る？」と声をかけ紙を丸めて作ると、一緒にポテト作りが始まりました。作り終わると、ままごとキッチンに持って行きカゴに入れ、何かと思ったら「ポテト揚げてま〜す」と揚げているイメージだったようで、注文してみると揚げたてのを盛り付けてくれ、ナゲットとケチャップもサービスでつけてくれました。次の日もハンバーガー屋が開店し、今度はペットボトルを並べて「買った人はゲームできます」「これ全部倒したらお人形がもらえます」とゲームのおまけ付きになり前日よりもさらにお客さんが沢山来て盛り上がっていました。見たことや経験したことを再現したり、友達とやりとりしながらごっこ遊びを楽しんでいます。



うさぎ組 (4歳児)「保育園ごっこ」

身体測定で2階の保健室へ行った時に1、2歳児クラスの部屋を探検しました。「テーブル小さいね」「水道が低い」等と、自分たちの保育室との違いを新鮮に感じたようで目を輝かせていました。保育室に戻ると、早速数人で積み木を組み立て保育園づくりが始まりました。最初はいつも通り「ここがうさぎ組で隣はきりん」等と囲いを作り始めたのですが、1階が完成すると「上のクラスも作ろう」とさらに積み木を重ね、今まで作ったことが無かった2階も作り始めました。「ここを寝る部屋にしよう」等とアイデアが膨らみ、さらには「外の滑り台も作ろう」と園庭も作っていました。保育士が「今日の天気いいね」と呟くと、一人の子が小さい人形を動かしながら「お庭で滑り台したいな」と言い、保育士役の子が「これからお庭に行きます。帽子をかぶってね」等と日々経験していることを再現して、友達同士でやりとりを楽しんでいました。その様子を見ていた子が「仲間に入れて」と次々に加わり「みかんを採ってジャムを作ろう」「調理室に持っていきよね」等遊びが展開しました。身近なことを再現し、楽しみながら遊びを展開しています。



きりん組 (5歳児)「そんごくうの冒険 パート2」

大きくなったね会で「そんごくうの冒険」の劇をした子どもたちは、「楽しかったね」「またそんごくうやりたい」と話していました。「今度は他の役もやってみたいな」と話して、友達と役を替えて遊び始めました。みんな自分の役以外の台詞もよく覚えて演じていましたが、本番とは台詞や動きや展開を少し変えて演じてみる子もいました。見ていた子どもたちは「えっ、前とちょっと違うよ」と気づきますが、「でもそれも面白い」と大笑いし、そこから子どもたちが自由な表現を楽しみ始めました。「これも使おうよ」と制作遊びで作った道具を劇に取り入れたり、「風が吹く音は木琴の音が良いんじゃない？」と新たな効果音をつけたり、本で読んだ新しい場面を加えたりし、劇は回を重ねるたびに盛り上がっていきました。色々な役になりきりながら、また新しい「そんごくうの冒険」の世界をみんなで楽しんでいます。

